



2002年6月7日 第2002-51号

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

03-3451-2586

E-MAIL : syakai@jam-union.or.jp

負担増の前に無駄の排除を！ 野党、法案撤回を強くせまる

健保法等改正法案、37時間審議

衆議院厚生労働委員会では、4月26日の審議開始以来、6月5日現在37時間の審議を行いました。民主党をはじめとする野党は、改革なき負担増に強く反対し、日本医師会に配慮するあまり、改革を先送りしてきた政府の責任を厳しく追及してきました。

しかし、政府が改革案として示している、「保険者の統合・再編」「高齢者医療制度の創設」「診療報酬体系見直しの基本方針」等の改革案策定の手順について、厚生労働大臣は何ら具体的な答弁をすることができないありさまです。

また与党委員は欠席が多く、時には委員より傍聴者の方が多いたともあります。これに関して、民主党の釘宮委員は「連日多くの傍聴者が熱心に聴いている一方、委員席は空席が目立つ。国民に負担を強いる法案を審議する委員会として反省し、真剣に議論すべきである。」と述べました。

「郵政」「医療」を優先？！

政府・与党が、終盤国会の焦点である4大法案のうち、個人情報保護法案の今国会成立を断念したことにより、自民党の衆参国会対策委員長は、重要4法案のうち郵政、医療制度関連法案を優先することで一致しました。

衆議院厚生労働委員会では、民主党委員が「中身の審議をたとえ37時間消化しても、参考人招致・採決へは進めない」と強く反発しています。現在、公聴会や委員会採決の日程をめぐり、また会期延長問題とあわせて与野党の駆け引きが行われています。

連合5・29国会行動を実施

連合は、5・29国会行動（座り込み・昼集会）を5月29日、9時30分から実施しました。草野事務局長はあいさつの中で、**800万人を超える署名活動**に対する協力に感謝の意を述べ、「医療の抜本改革なくして日本の医療制度の維持はできない。健保法改悪を絶対阻止し、野党のみなさんと力を併せて最後まで闘いたい」と、野党と連携し結束していく決意を表明しました。

ご協力ありがとうございました

JAM署名集約人数 357,806人

すべて衆参両議長に提出しました